

2010年度 パワーアカデミー研究助成 「特別推進研究」の募集要項

パワーアカデミーでは、活動の大きな柱の1つとして「産学共同研究の促進」を掲げています。これは、「パワーアカデミー研究マップ」に基づき、電力供給システムの将来、高度なエネルギー利用、経年設備のリフレッシュ・高機能化など様々な視点から、産業界の中長期的な課題を想定し、アピール性が高く魅力的なテーマを設定して、産学共同研究を促進する取り組みです。

*パワーアカデミー創設の目的や取り組み内容、活動の趣旨などについては、こちらをご覧ください。パワーアカデミーとは：<http://www.power-academy.jp/about/>

*パワーアカデミー研究マップの詳細および研究マップが目指すものについては、こちらをご覧ください。パワーアカデミー研究マップ：<http://www.power-academy.jp/master/map/>

1. 「特別推進研究」研究助成の趣旨・内容

「特別推進研究」では、大学間の連携などを通じた波及効果が期待できる電気工学分野での研究助成を実施致します。

低炭素社会の実現に向けては、供給側でのエネルギーの低炭素化に加えて、需要側での電気エネルギー利用の効率化も、電気エネルギー分野での取り組みとして重要です。電気エネルギー利用においては、機器・システムの高効率化および省エネルギー化の達成と同時に、需要側での電力品質の確保も必要となります。これらを支える技術としては、様々なものが考えられますが、代表例として、以下の項目が挙げられます。

- ・電気自動車を始めとする運輸部門の電化拡大
- ・太陽光発電、風力発電、ヒートポンプなどの性能向上を支えるパワーエレクトロニクス技術、回転機技術の進展
- ・発光ダイオード、レーザーなどを利用した省エネルギー・リサイクル技術の創出
- ・HEMS (Home Energy Management System)、BEMS (Building Energy Management System) に代表されるエネルギー管理システムの高度化
- ・電力変換機器の低ノイズ化・高調波抑制化、瞬低補償装置や電力貯蔵システム高性能化による電力の品質管理技術の高度化

これら技術の研究開発を促進するため、今年度は、以下のテーマにて公募を実施致します。

募集テーマ

「低炭素社会の実現に向けた電気エネルギーの高度利用」

上記募集テーマは、多岐の研究領域に跨ったテーマと考えられ、多面的なアプローチによる課題の解決が望まれます。従って、課題の解決に向けては、複数の教員の方々の専門性を最大限発揮して頂き、相乗効果により、課題の解決を図ることが不可欠と考えられます。そのため、「特別推進研究」は、複数の教員による共同研究として応募して頂くこととします。

2. 研究期間

1年または2年間

1年間の場合：2010年11月から2011年10月まで

2年間の場合：2010年11月から2012年10月まで

3. 助成規模

1件当たりの予算総額は2,000万円を上限とし、2件程度を採択予定。

予算総額が2,000万円を下回る場合であっても、金額に見合う提案内容、共同研究者数であれば応募可能ですので、幅広い提案をお待ちしております。

4. 応募資格

共同研究者は、日本国内の大学または高等専門学校に所属する常勤の教員*とし、複数教員での応募をお願いします。

なお、「特別推進研究」への共同研究者としての応募は、1人1件とさせていただきます。但し、「特別推進研究」に応募された教員が、「萌芽研究」へ応募することは可能とします。

[・「萌芽研究」の募集要項へ](#)

教員*：教授、准教授、講師、助教、助手

5. 選考方法

選考にあたっては、下記の着目点に基づき、パワーアカデミーが厳正かつ公平に選考致します。その際、必要に応じて研究内容等に関するヒアリングをお願いする場合があります。

なお、応募者の個人情報、知的財産等に係る情報等に配慮し、選考の経過や内容、他の応募者に関する事項等に関する照会には応じられませんのでご了承ください。

選考着目点

- ・研究内容が独創的あるいは先駆的であるか。
- ・研究内容の遂行に対して意欲的か。
- ・電気工学分野における大学間の連携などを通じた波及効果が期待できるか。

6. 留意事項

応募者には予め、下記のお願ひ事項をご了承頂いていることと致します。

- (1) 採択者リストをパワーアカデミーホームページに掲載させていただきます。
- (2) 採択された研究代表者の方には、採択式に出席して頂くことを予定しています。
- (3) パワーアカデミーが必要と認めた場合、助成金の支出記録の提示をお願いすることがあります。
- (4) 助成期間中、研究進捗状況を確認させて頂くため、簡易な中間報告書、最終報告書を提出して頂きます。

・研究期間が1年間の場合

中間報告書（1回）	2011年2月提出
最終報告書	2011年10月提出

・研究期間が2年間の場合

中間報告書（3回）	2011年2月提出
	2011年10月提出
	2012年2月提出
最終報告書	2012年10月提出

- (5) 研究発表、論文掲載等を行う場合、パワーアカデミー研究助成の記載を差し支えない範囲でお願い致します。
- (6) 今後の産学連携推進を図る上で、情報共有が重要であることから、電力およびメーカー^(注1)に報告書を開示させていただきます。（但し、当該企業および機関への報告書開示に関し、支障がある場合には、取り扱いを協議させていただきます。）

(注1)：北海道電力、東北電力、東京電力、中部電力、北陸電力、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、沖縄電力、電源開発、電力中央研究所、日立製作所、東芝、三菱電機、日本電機工業会、日本電線工業会

- (7) 成果報告会などに参加をお願いすることがあります。
- (8) 助成期間終了後にアンケートを行う予定です。ご協力をお願い致します。
- (9) 本研究助成により発生した知的所有権は、大学側に帰属するものと致します。

7. 応募方法

応募申請書に研究内容ほか必要事項を記入のうえ、下記パワーアカデミー事務局まで郵送または電子メールで提出してください。

受付期間は、2010年6月1日（火）から2010年8月2日（月）午後5時（必着）までとします。

なお、申請書に記載頂きました個人情報、研究内容等一切の情報は、ご本人の承諾なく選考以外の目的には使用致しません。

* 「応募申請書」はこちらです。 [応募申請書.pdf](#) [応募申請書.doc](#)

【申請書提出先】

◇郵送の場合

〒100-8118

東京都千代田区大手町1丁目3番2号 経団連会館
電気事業連合会 技術開発部内 パワーアカデミー事務局
研究助成申請書受付 宛て

◇電子メールの場合

koubo10@fepc.or.jp (添付資料の容量4MB以下)

8. 採択通知

選考結果は2010年10月下旬に全応募者に通知致します。

9. 採用決定後の諸手続き

採用が決定した件名については、共同研究者が所属する各大学および各高等専門学校
の担当部署と手続きを致します。

なお、研究助成は寄附金（奨学寄附金）で実施致します。担当部署との手続き完了
後、各校の寄附金口座へ11月末頃の振込を予定しております。

10. お問い合わせ

本研究助成の内容、応募方法等についてご不明な点がございましたら、お電話また
は電子メールにてお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

電気事業連合会 技術開発部内
パワーアカデミー事務局 研究助成担当
TEL：03-5221-1450
e-mail：koubo10@fepc.or.jp

以 上